

# 第6学年国語科学習指導案

児童 1組 男子16名 女子11名 計27名  
指導者 小田憲司

- 1 単元名 共に考えるために伝えよう（光村図書 6年上 創造）  
教材名 みんなで生きる町

## 2 単元について

### (1) 児童について

児童は、5年生の単元「意見を整理しながら、目標に向かって話し合おう」教材「『失敗』をめぐる」の学習で、出された意見を分類・整理した上で解決方法を探る話し合いの仕方を学んだ。その中で、話題に沿って話し合いを進めることの大切さや積極的に意見を出すことの重要性、相手の立場になって考えることの大切さを学んできた。また、6年生の単元「相手の意図を聞き取り、自分の主張をしよう」教材「学級討論会をしよう」の学習では、ある議題に対して肯定・否定の立場に立って議論する話し合いの仕方を経験してきた。賛否が分かれる話題について、それぞれの意見の長所・短所を分析的に考え、相手を説得する話し方を工夫したり、相手の論点を聞き取ったりして、結論を導こうとする話し合いの仕方を学んできている。

また、国語の学習以外では、朝の会で「1分間スピーチ」に取り組み、学級の友達の前でテーマに沿ったスピーチをしたり、聞いたりという活動を毎日行っている。質問・感想コーナーでは、相手が言ったことを復唱し、それに加えて質問や感想が言えるようになってきている。

この単元の目標に関わる「話し合い」について事前の意識調査をしたところ、結果は次の通りであった。

質 問 項 目	はい	どちらかとい う はい	どちらかとい う いいえ	いいえ
①話の構成を考えて話そうとしているか。	37%	44%	15%	4%
②資料を適切に提示しながら説明することができるか。	30%	44%	26%	0%
③相手の主張する根拠を明らかにしながら聞こうとしているか。	7%	63%	30%	0%
④自分の立場や意図をはっきりさせて、話し合いが深まるように話し合おうとしているか。	30%	33%	37%	0%
⑤お互いの違いを大事にしながら話し合おうとしているか。	26%	63%	7%	4%

調査の結果から、「①話の構成を考えて話そうとしている」、「③相手の主張する根拠を明らかにしながら聞こうとしている」、「⑤お互いの違いを大事にしながら話し合おうとしている」の項目が比較的プラス傾向の割合が高い。相手の主張と自分の考えとの違いを明らかにし、かつ、相手の考えを大事にしようとする傾向があり、今後の話し合いでも大事にしたいと考える。しかしながら、「④自分の立場をはっきりさせて、話し合いが深まるように話し合おうとしている」項目でマイナス傾向にあり、深まりのある話し合いについての意識はまだまだ高くないと言える。

これらのことから児童は、自分の考えや相手の考えを大事にしようとしているが、話し合いをさらに深め、よりよい考えに至らせることについては課題があることがうかがえる。

## (2) 教材について

本教材は、まず、資料「多くの人が使えるように」をきっかけに課題をもち、「ユニバーサルデザイン」について調べる活動を行う。次に発表会を行い、発表者へのアドバイスを通して、ユニバーサルデザインに対しての考えを深めていく。そして、発表会を通して深まった考えを文章に表し、さらにお互いに読み合っって加筆修正を加え、自らの提案をよりよいものにするという構成になっている。

5、6年生の「話すこと・聞くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる」である。

本単元のねらいは、「多くの人が使えるように」をきっかけに、自分の身の回りの物をユニバーサルデザインの観点から見直し、調べたことを交流して深まった考えをまとめるとともに、生活していく意欲をもつことである。

また、主たる指導事項は「考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係づけること」(A(1)ア)、「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら場に応じた適切な言葉遣いで話すこと」(A(1)イ)、「互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと」(A(1)オ)、「資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること」(A(2)ア)、「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」(B(1)イ)「事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」(B(1)ウ)、「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」(B(1)エ)「自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告したり文章などを書いたり編集したりすること」(B(2)イ)、「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること」(C(1)イ)、「自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること」(C(2)イ)である。

つまり、話すことでは自分の考えが聞き手に十分伝わるよう、話題の構成を工夫し、その中で適切に資料の提示をすること、また、聞くことでは、話し手の考えを自分の意見と比べ、助言や提案をすることでお互いの考えを深めることが大切となる。

なお、本単元の学習は、中学1年生の「日常生活の中から、話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること」(A(1)ア)につながる。よって、友達との交流がしっかりなされるよう雰囲気作りや、話し合いの視点が明確になるよう配慮していきたい。

## (3) 指導に当たって

指導に当たっては、次のように進めたい。

つかむ段階では、総合的な学習の時間で経験したキャップハンディ体験を想起させたい。自分とは違う立場の人が、日常の何気ない生活の中でどのような苦勞をしているのか、自分が感じ取ったことを振り返らせ、授業の導入としたい。次に資料「多くの人が使えるように」を扱う。キャップハンディ体験をもとにユニバーサルデザインの観点で本単元の学習を主体的に進められるようにしていきたい。

ふかめる段階では、ユニバーサルデザインの観点で学校や地域の公共施設・物について調べる。学校や地域の公共施設・物について、現在どんな工夫がされているか(工夫点)、これからどんな工夫が必要か(改善点)を一人一人まとめ、発表していく。発表の際、話し手は、聞き手に自分の調べたことが分かりやすく伝わるように、聞き手の様子を確認しながら、資料提示のタイミングや長さ等工夫して発表できるようにさせたい。また、聞き手は、自分の考えの参考になることや共感できること等をワークシートにメモをする。そして、それをもとにアドバイスをし、話し手の考えが広められるようにしたい。

まとめる段階では、話し合いで深まった考えを自分の提案として文章にまとめ、さらに第三者の考えを取り入れて加筆修正を加えて仕上げていく。説得力が増すよう、現在の学校や地域の公共施設や物の良い点と足りない点を明確にしながらか自分の提案ができるようにさせたい。

完成した提案は保護者に向けて発信することとし、明確な相手意識を持たせるとともに、学習に取り組むための意欲を高めていきたいと考える。

さらにこの単元では、話し合いの際、ユニバーサルデザインについての考えが広められるよう、司会者を立て、話し合いの視点を明確にしながら話し合いができるようにさせたい。アドバイスとして、発表者と自分の違いを大事にし、相手の良さを認めながら、自分が調べた視点をもとにしてアドバイスできるようにさせていきたい。

#### (4) 家庭学習と授業のつながりについて

つかむ	・新出語句、漢字等の意味理解に関する調べ学習。・音読練習。
ふかめる	・家の人にユニバーサルデザインについて聞く、インターネット、図書資料で調べるなどの調べ学習。 ・学習の感想のまとめ。
まとめる	・家の人への提案。

### 4 単元の目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

◎「多くの人が使えるように」なることを考えて、身近な施設や物に関心をもち、進んで調べたり、発表したりしている。

#### (2) 話すこと・聞くこと

◎調べたことがクラスの友達に分かりやすく伝わるように工夫して発表することができる。

○話し合いを通してみんなの考えをよりよいものに練りあげることができる。

#### (3) 読むこと

○調べる内容を明らかにして、文章を読むことができる。

#### (4) 書くこと

◎多くの読み手に提案内容が伝わりやすいように組み立てを工夫してまとめることができる。

○提案内容を理解してもらえるように、できるだけ具体的に説明することができる。

#### (5) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、使うことができる。

### 5 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 読む能力	エ 書く能力	オ 言語についての知識・理解・技能
・「多くの人が使えるように」なることを考えて、身近な施設や物に関心をもち、進んで調べたり、発表したりしようとしている。	・調べたことが、クラスの友達に分かりやすく伝わるように工夫して発表している。 ・話し合いを通してみんなの考えをよりよいものに練りあげている。	・調べる内容を明らかにして、文章を読んでいる。	・多くの読み手に提案内容が分かりやすく伝わるように組み立てを工夫してまとめている。 ・提案内容を理解してもらえるように、できるだけ具体的に説明している。	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、使っている。

5 学習指導計画（全13時間）

はかかわり合いの場合

過程	時間	学習活動	教師の働きかけ	評価規準（方法）
つかむ	1	教材文を読み、学習の見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなで生きる町」という意味について話し合わせる。</li> <li>「ユニバーサルデザイン」の意味を理解させる。</li> </ul>	ウ 調べる内容を明らかにして、文章を読んでいる。 (観察・発言・ノート)
ふかめる	2・3・4	「ユニバーサルデザイン」の発想をもって、身の回りの施設や物について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ユニバーサルデザイン」の視点で、身の回りにある施設や物についての問題意識をもたせる。</li> <li>身の回りにある施設や物について調べる計画を立てさせる。</li> <li>身の回りにある施設や物について現在どんな工夫がされているか、これからどんな工夫が必要かを調べさせる。</li> </ul>	ア 「多くの人が使えるように」なることを考えて、身近な施設や物に関心をもち、進んで調べようとしている。 (観察・学習シート)
	5・6	調べたことを整理し、発表の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことを整理し、発表の準備をさせる。</li> <li>付録CDを聞き、発表のイメージをもつ。</li> <li>取材メモを整理して、発表メモを書く。</li> <li>分かりやすく伝えるために必要な提示資料を作る。</li> <li>発表メモや提示資料をもとに、発表の練習をさせる。</li> </ul>	エ 多くの読み手に提案内容が分かりやすく伝わるように組立を工夫してまとめている。 (学習シート) エ 提案内容を理解してもらえるように、できるだけ具体的に説明している。 (観察・学習シート)
	7 (1組本時)	調べたことを発表し、話し合っ て考えを深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>取材して分かったことと、自分の考えを発表させる。</li> <li>お互いの発表を聞いて、疑問点や交換できることを話し合わせる。</li> </ul>	イ 調べたことが、クラスの友達に分かりやすく伝わるように工夫して発表している。 (発表・相互評価) イ 話し合いを通してみんなの考えをよりよいものに練りあげている。 (発言・学習シート)
	8・9	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内で調べたことをお互いに発表し、疑問点や交換できることを交流し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞く側は、自分の考えが深められるようメモをとる。また、発表者に対してアドバイスできるようにさせたい。</li> </ul>	
	(2組本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで発表したことを全体に広め、疑問点や交換できることを交流し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えの参考になることや共感できることなどを話し合い、ワークシートに記入させる。</li> </ul>	
まとめる	10・11・12・13	話し合いで深まった考えを、提案として文章にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の文章例をもとに、提案する相手や方法、形態等について話し合わせる。</li> <li>話し合いで深まった考えを、提案として分かりやすく文章にまとめる。(下書き)</li> <li>友達どうしで読み合っ、意見を交換する。</li> <li>よりよい修正となるよう加筆修正をして仕上げる。</li> </ul>	オ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、使っている。 (学習シート)

6 本時の指導 (7 / 13)

(1) ねらい

- ・調べたことが分かりやすく伝わるように工夫して発表することができる。
- ・グループ内の話し合いを通して、自分の考えを深めることができる。

(2) 本時の展開

           は、かかわり合いの場

過程	学習活動	教師の働きかけ																					
つかむ	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習の感想を紹介し、本時の学習に対する意欲を喚起する。</li> <li>・本時は、それぞれが調べたことを発表し、意見交換することで自分の考えをさらに深める学習であることを確認する。</li> </ul>																					
5分	話し合いを通して、自分の考えを深めよう。																						
かかわり合う	3 学習課題を解決する。 (1) 発表の仕方、話し合いの仕方を確かめる。 <話し合いのポイント> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の提示の仕方を工夫する。</li> <li>・聞き手が資料を見る時間をとる。</li> <li>・大事なことや参考になることをメモする。</li> <li>・質問や意見を積極的に発表する。</li> </ul> (2) グループ内で発表し、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いのポイントを提示し、活動後に自己評価することを確認する。</li> <li>・本時はグループ内で発表を行う。話し合いが深まるよう、司会者を立て、視点に沿って様々な考えを引き出せるようにさせたい。</li> </ul>																					
	学習形態は、グループ。個々の発表後、テーマに沿ってグループ内で話し合いをする。	テーマに沿って話し合いができるよう、司会者を立てて進行させる。																					
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">1 児童Aの発表</td><td style="padding: 2px;">→</td><td style="padding: 2px;">Aに質問</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">2 児童Bの発表</td><td style="padding: 2px;">→</td><td style="padding: 2px;">Bに質問</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">3 児童Cの発表</td><td style="padding: 2px;">→</td><td style="padding: 2px;">Cに質問</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">4 児童Dの発表</td><td style="padding: 2px;">→</td><td style="padding: 2px;">Dに質問</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">5 児童Eの発表</td><td style="padding: 2px;">→</td><td style="padding: 2px;">Eに質問</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">6 児童Fの発表</td><td style="padding: 2px;">→</td><td style="padding: 2px;">Fに質問</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">7 グループ内での話し合い</td><td></td><td></td></tr> </table>	1 児童Aの発表	→	Aに質問	2 児童Bの発表	→	Bに質問	3 児童Cの発表	→	Cに質問	4 児童Dの発表	→	Dに質問	5 児童Eの発表	→	Eに質問	6 児童Fの発表	→	Fに質問	7 グループ内での話し合い			評価規準 A : ・調べたことが相手に伝わるよう、相手の様子確かめながら、話の構成や資料提示を工夫し、分かりやすく発表している。 ・話し合いから自分の考えを深め、役立てようとする。 B : ・話の構成や資料提示を工夫し、分かりやすく発表しようとしている。 ・話し合いから自分の考えを深めることができる。 (C児への手だて) ・発表の際、発表原稿を使って安心して発表できるようにさせる。 ・大事なことや参考になることをメモするよう助言する。
1 児童Aの発表	→	Aに質問																					
2 児童Bの発表	→	Bに質問																					
3 児童Cの発表	→	Cに質問																					
4 児童Dの発表	→	Dに質問																					
5 児童Eの発表	→	Eに質問																					
6 児童Fの発表	→	Fに質問																					
7 グループ内での話し合い																							
30分	<テーマ> 「今あるものを見直す」 → 広める 「視覚障害がある人のために」 → 広める 「上がることについて」 → 深める 「身体が不自由な人の身になって」 → 広める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「広めること」、「深めること」を目的にテーマ別に話し合いをする。時間的な問題でまとめができないことも予想されるが、話し合いが途中で価値ある話し合いととらえたい。</li> </ul>																					
みとめ合う10分	4 本時の学習をまとめる。 5 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めの自分の考えと話し合いを通して参考になったことを中心に感想をまとめさせたい。</li> <li>・次時は全体の場で発表・話し合いをするための準備をすることを伝える。</li> </ul>																					